

平成16年度

# 研究のあゆみ

## 「遊ぼう 知ろう やってみよう」

— 幼稚園・保育園から小学校への  
なめらかな接続・連携をめざして —

柏市立かしわ幼稚園



柏市立柏第四小学校



柏市立あけぼの保育園

柏市立教育研究所  
柏市立かしわ幼稚園

## 研究の概要

### 1. なぜ、幼稚園・保育園から小学校への接続・連携が必要なのか

(背景)

社会の急激な変化等に伴う教育力の低下



(子どもの育ちの変化)

基本的な生活習慣の欠如、コミュニケーション能力不足、自制心や規範意識の不足、小学校生活への不適応、学ぶ意欲・関心の低下等。

・「学びの履歴・先行経験を踏まえた継続的な指導」から一主体的な遊びを中心とした指導から学び中心の指導への移行を円滑にするため、共通の目的を持ち、子どもに自立（自律）の力をつけていく。

・「発達の連続性に基づく子ども理解」から一生活環境や指導観の違いから必要以上の段差や相互理解不足が見られるため、教師間の相互理解を深め指導に役立てる。

### 2. 研究の目標と内容

(目標)

交流活動を中心に、身近な人や物についての理解や関心を深め、園児や児童の主体性を育てる。

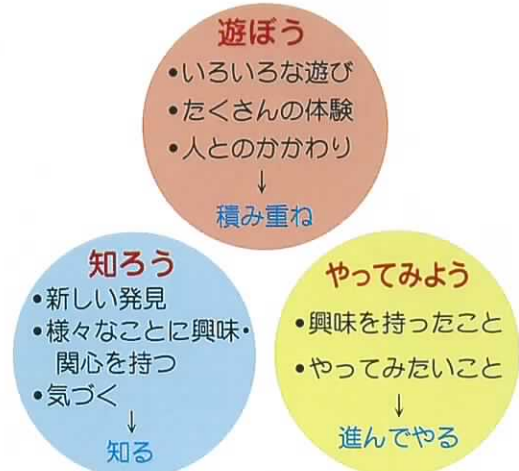
各年齢の子どもの発達に即し、一貫性のある見通しをもった指導内容や指導方法の在り方を構築し、幼保小のなめらかな接続・連携をめざす。

(内容)

園児や児童の主体性を育てるため・・・幼・保・小の共通のねらいの明確化  
交流活動内容の工夫

幼保小のなめらかな接続・連携をめざす・・・合同研修会（参観・協議会・研修会）の実施・教師間の相互理解・指導内容や指導の在り方の構築・教育課程の連続性と共通性を持つ。

園児や児童の人やものとのかかわりを  
広め深め高めるために



《幼・保・小連携の構想図》



就学前教育と小学校教育の連携で大事なことは、「教育内容の連続性」を持たせることである。そのために、教育内容や保育内容また、教育観・指導観・保育観の相互理解をすることである。具体的には、研修会の充実や相互参観の実施をして、連携の意識化を図る。そして、生活科や総合的な学習の時間・特別活動等を通して交流活動の充実をめざす。更に、保護者との連携のため情報の提供と収集や関係機関等との連携・支援を受けながら、連携の充実を図る。

### 3. 研究計画 〈交流活動計画・合同研修計画〉

月	園児・児童の交流活動	教職員の合同研修会
4		
5		柏第四小学校・あけぼの保育園へ研究の協力依頼
6	<p>第1回幼保交流活動 市立かしわ幼稚園とあけぼの保育園交流活動 (於：市立かしわ幼稚園) 「仲よく遊ぼう」</p> 	<p>第1回幼保小合同研修会於：市立かしわ幼稚園 • 園児・児童の実態の情報交換・研究の年間計画</p> <p>第1回幼保小交流活動事前打ち合わせ • 交流内容や実施方法 於：柏四小 柏四小授業参観</p>
7	<p>第1回幼保小交流活動 (於：柏市高田緑地公園) 「公園でみんなと遊ぼう」</p>	<p>柏市教職員夏季研修講座（幼保小関連内容講演会） あけぼの保育園保育参観（夏祭り）</p>
8		<p>柏市教職員夏季研修講座（幼保小関連内容） 第2回幼保小合同研修会 於：柏四小 • 1学期の反省と2学期の活動計画</p>
9		
10		<p>柏市幼児教育研究交流会於：市立かしわ幼稚園 • 保育参観・研究発表・情報交換</p>
11	<p>第2回幼保小交流活動（於：柏第四小学校） 「秋の交流まつり」</p> <p>第2回幼保交流活動 市立かしわ幼稚園とあけぼの保育園交流活動 (於：市立かしわ幼稚園) 「やきいもをつくろう」</p>	<p>第2回幼保小交流活動事前打ち合わせ 於：市立かしわ幼稚園 • 幼・小で内容や事前指導・準備について</p> 
12		<p>第3回幼保小合同研修会 於：柏四小 • 2学期の反省と3学期の活動計画</p>
1	<p>第3回幼保小交流活動（市立かしわ幼稚園） 「お正月遊びを楽しもう」</p> 	<p>第3回幼保小交流活動事前打ち合わせ 於：市立かしわ幼稚園 • 幼・保で交流活動の内容・実施方法について</p>
2		<p>第4回幼保小合同研修会 於：あけぼの保育園 • 3学期の反省と今年度の研究のまとめ • 来年度の研究について</p>
3		研究のあゆみ（リーフレット）作成

## 4. 実践交流活動



第1回 交流活動

# 「公園でみんなと遊ぼう」

平成16年7月1日(木)  
10:00~11:00  
柏市高田緑地公園

### 「ねらい」

- 新しい友達や先生など、色々な人とかかわりを持つ。
- 初夏の自然に触れたり遊具を利用したりして、たくさんの友達と楽しく遊ぶ。
- 公共施設の使い方や交通ルールについて考え、行動する。

### 「内容」

1. 始めの会
  - 初めて会った友達や先生と挨拶を交わす。
  - じゃんけんゲームを楽しむ。
2. グループ遊び
  - 小学生からプレゼント(名札)
  - 自己紹介
  - グループ遊び(鬼ごっこ・ハンカチ落としなど)
3. 終わりの会
  - 楽しく過ごせたことを喜び合う。
  - 次回また会える事を約束する。
  - グループごとに手をつないで公園を出発する。

幼稚園5歳児	37名
保育園5歳児	16名
小学1年生	90名
教職員	12名

### 「子どもの様子」

- 小学生の人数の多さに圧倒され言葉もなく、表情も硬かった。
- 小学生から名札をプレゼントしてもらったことで、一緒に遊ぶ友達を見つけやすかった。
- 少人数のグループに分かれ、遊びを教えてもらったり、優しく声を掛けてもらったりしていく中で、表情も和らぎ、打ち解けていった。
- 帰りには小学生と手をつなぎ、歩きながら会話をし、次回への期待を持つことができたようで、幼稚園に戻ってから「今度、いつ遊べるのかな」とつぶやいていた。



### 成果と課題

- 小学生に遊びを教えてもらったり、優しく声を掛けてもらったりする中で、親しみや憧れを抱くことができた。
- ☆ 共通理解が十分に図られなかったため戸惑った。
  - 共通のねらい
  - 事前指導
  - 当日の子どもへのかかわり(グループ作りなど)
- ☆ 当日を迎えるまでの流れや活動内容など、幼保小で共通理解を十分に図った上で、次回の交流会を計画、実践していきたいと思う。

お姉ちゃんと一緒にどんぐりの  
ネックレスを作ったよ。



「ねらい」

- 新しい友達や先生など、色々な人と交流を持つ。
- 小学校の雰囲気を感じながら、お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に、秋の実や葉を使って様々なものを作ったり遊んだりしながら楽しく過ごす。
- 小学校内での過ごし方について考えて行動する。

「内容」

1. 始めの会 (体育館)
  - 各グループからコーナー紹介
2. アトラクション (各教室)
  - グループごとに好きなコーナーで遊ぶ。
  - 小学生は店番と誘導に分かれる。
3. 終わりの会 (体育館)
  - インタビュー
  - みんなの歌「かしわハッピー」
  - 小学生からプレゼント (ペンダント)

第2回  
交流活動

「秋の交流まつり」

平成16年11月17日(水)

10:00~11:30

「コーナーの内容」

1年1組

- 松ぼっくりのけん玉
- 木の葉のかんむり
- どんぐりのマラカス

1年2組

- おなもみの的あて
- まつぼっくり投げ
- 木の实アクセサリー

1年2組

- どんぐりごま
- どんぐりつまみ
- ようしゅやまごぼうの色染め

柏市立柏第四小学校



インタビューをうけたよ。



どんぐりつまみ面白かったよ!

体育館・1年各教室

幼稚園5歳児	40名
保育園5歳児	17名
小学1年生	90名
教職員	13名



成果・課題



- 1回目の反省を踏まえ小学校の指導計画を元に話し合い、共通理解を図った。製作物の見本を事前に見せてもらったことで子ども達に適切に援助ができた。
- グループの中のペア同士での交流がよく見られ、互いに安心できた。
- 身近な自然物を使った製作や遊びだったので、楽しむことが出来た。
- ☆ 1年生が教え、幼・保はお客さんという形で1年生にとって負担が大きかった。
- ☆ 教室という空間に人数が多く、子ども達は圧倒されていたところもあり、場所の使い方をもう少し考えても良かった。
- ☆ 1、2回目とも小学校の生活科中心の企画になっているので、次回は幼・保・小が企画段階からよく話し合い共通理解を図ることが必要ではないか。

# 第3回 交流活動 「お正月遊びを 楽しもう」

平成17年1月27日(木)  
9:40~11:30  
柏市かしわ幼稚園 園庭

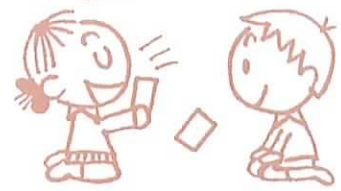


- 小学生や幼稚園・保育園の様々な友達や先生など、色々な人との交流を楽しむ。
- 昔ながらの伝承遊びに触れ、友達と一緒に親しむ。
- 今までの交流会を振り返り、一人一人の思いや気付きなどを互いに受け止め合う。

- ♪ ～ こんなことやったよ! ～ ♪
1. 始めの会
    - ・遊びやコーナーの紹介
    - ・メンバー探し
  2. グループごとにコーナー遊び(お正月遊び)
    - ・カルタ・コマ・はねつき・福笑い・すごろく・けん玉
    - ・だるまさんが転んだ・花いちもんめ
  3. 終わりの会
    - ・ゲーム(じゃんけん列車)
    - ・1年生へのプレゼント(手作りカルタ)
- ♪ ～ ♪ ～ ♪ ～ ♪ ～ ♪

## 参加者

- 幼稚園児 40名
- 保育園児 17名
- 小学1年生 90名
- 教職員 13名



「できた!! どんな顔になってる?」  
ハラハラ ドキドキ。  
福笑いっておもしろいね。



「できるかな」  
「いくよ。せーの!」  
けん玉って難しいね。



「じゃんけんぼん!」  
みんなの心がひとつになった  
じゃんけん列車、楽しかったね。

## 成果・課題

- 小学校中心だった1回目・2回目の反省を踏まえ、事前に幼稚園と保育園とが当日の内容や流れなどを検討したので「自分たちで」という意識が持てた。
- 子ども達がそれぞれ、3回目の交流会を楽しみにしていて、当日もかかわりが広がり、深まり、回を重ねるほど自然な交流が持てるようになった。
- 活動の始めと終わりにゲームを取り入れ、楽しんで小グループ作りができた。
- コーナーの内容(お正月遊び)もそれぞれが日頃から楽しんでいるものだったので、無理なく参加できた。
- ☆ コーナー遊びでは、さらに色々な人と触れ合える遊び方の工夫が必要だった。
- ☆ 幼・保・小が企画段階からよく話し合い、共通理解を十分に図った上で取り組むことが重要である。

# 研究のまとめ

5.

研

## 交流の キーワード

- 少人数グループ
- 繰り返しの活動
- 事前指導
- 交流内容の工夫

交

流



活

動

### 園児・児童の交流活動の成果と課題

- いろいろな交流活動を通して、友達とのかかわりが広がった。
- 少人数グループで繰り返しの活動を行うことでかかわりが深まった。
- ☆ 発達段階に応じた活動への意識の持たせ方、教職員の支援の在り方について交流活動の事前指導で共通理解を図る。
- ☆ 子ども達の願いや思いを大切にしたい、交流活動の内容を工夫する。

## 連携の キーワード

- 相互理解
- 共通理解
- 育ちに連続性を求めて
- ねらいの明確化

合

同



研

修

### 教職員合同研修会の成果と課題

- 4回の合同研修会を実施したことにより、保育観・指導観の違いを少しずつ理解することができ、交流活動に生かすことができた。
- 相互理解をすることで、指導計画や保育計画の見直し、連携の必要性や大切さへの意識が高まった。
- ☆ 幼保と小の発達段階に応じた連携のねらいと、目指す子ども像や指導観・教育観・保育観の十分な共通理解を図る。

## 6. 研究を終えて

幼保小の連携の必要性・重要性については、理解して取り組んだ研修でしたが、実際に交流活動や教職員の合同研修を通して感じたことがたくさんありました。例えば、交流活動での事前指導・支援の違いや活動に対する指導観の違い等々、やってみなければ見えない部分がありました。この研修で、改めて今までの指導を振り返ることで、幼稚園でなければできないこと、幼稚園でしておくべきことを明確にすることの大切さを感じました。

一年生に入学して自分のことで精一杯の子ども達が、一学期のうちから、年下の子ども達に目を向けて活動できたということは、良くがんばったと思います。2回目3回目と交流活動を行っていくことで、徐々に肩の力も抜けて子ども同士、教師間のつながりも深まったと思います。

初めての幼保小の交流という事で、それぞれの考え方の違いに戸惑いもありましたが、交流会を通して、思った事を出し合い話し合う中で、少しずつ理解を深められた事が、今年の大きな収穫だったと思います。

協力小学校

研究同人

協力保育園

柏市立柏第四小学校

柏市立かしわ幼稚園  
柏市立教育研究所

柏市立あけぼの保育園

### ◎発行者・お問い合わせ先

柏市立教育研究所

〒277-8503 千葉県柏市大島田48番地の1 TEL04-7191-7387

柏市立かしわ幼稚園

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田119 TEL04-7143-1523

発行日 平成17年3月28日より